

2020年6月10日

大阪大学データビリティフロンティア機構と山梨大学が連携協定を締結
- 健康・教育・都市生活などのライフデザイン分野に関連するイノベーションの創出に向けて -

◇概要

2020年4月1日、山梨大学研究推進・社会連携機構（山梨県甲府市、機構長：早川正幸）は、健康・教育・都市生活などのライフデザイン分野に関連するイノベーションの創出をめざし、大阪大学データビリティフロンティア機構（大阪府吹田市、機構長：尾上孝雄）に設置するライフデザイン・イノベーション拠点本部（拠点本部長：八木康史）と相互に連携・協力を行っていく協定を締結しましたのでお知らせします。

これは「Society 5.0 実現化研究拠点支援事業」に大阪大学が代表機関として採択された「ライフデザイン・イノベーション研究拠点」事業における、パーソナル・ライフ・レコードデータ (PLR) ※1の収集加速・利活用の範囲拡充などの研究推進や、山梨大学が有する強みを活かし、AI時代にふさわしい教育研究を推進するものです。

本連携協定のもと、2020年度から2022年度まで、健康・教育・都市生活などのライフデザイン分野の共同研究や学生及び教職員の交流などにおける提携を行います。

◆大阪大学ライフデザイン・イノベーション研究拠点について

大阪大学ライフデザイン・イノベーション研究拠点（以下「iLDi」）は、Society 5.0（超スマート社会）の実現に向け、パーソナルデータを有効活用した新たな研究スタイルを確立するために大阪大学が設けた実証拠点です。2018年9月に、文部科学省が実施した2018年「Society 5.0 実現化研究拠点支援事業」において、全国で唯一採択された研究拠点です。

生活の質（クオリティ・オブ・ライフ＝QOL）の維持・向上をめざした「ライフスタイル」研究、心と体の健康増進をめざした「ウェルネス」研究、楽しみと学びを実現する「エデュテインメント」研究を並行して推進し、人の健康と日常生活の関わりから、身体の健康、心の健康、社会的健康（コミュニケーション）、環境の健康を基軸にして、高いQOLをデザインし、さまざまな技術革新と社会経済環境の変革を発信していくことを目指しています。



図：iLDi 概念図

今後、iLDiでは、効率的なデータ収集を目指すため他大学等とデータ収集を中心に、山梨大学含め様々な大学等との組織間連携を推進していきます。また、PLR基盤の試験運用を行うとともに、全てのプロジェクトにおいて、データ利活用が期待される形でのデータ収集を促進することとしています。

◆山梨大学研究推進・社会連携機構について

Press Release

山梨大学研究推進・社会連携機構は、「地域の中核、世界の人材」を旗標に掲げる山梨大学（学長：島田眞路）の産学官連携研究を推進する役割を担い、教育学、医学、工学、生命環境学の学域の「知の融合」を図り、広く社会と連携して、社会に貢献していくことを目的としています。「Society 5.0 実現化研究拠点支援事業」においても、学術分野、産学官の垣根を超えて下記の様な取り組みを通して、PLR を高度に活用したライフデザインの革新に貢献します。

1. 地方都市モデルの提案に資する PLR 取得フィールドの提供
2. 日本一の健康寿命、人口流出の少なさ等、山梨県の特性を生かした研究教育の推進
3. かかりつけ連携手帳等、独自のプラットフォームや情報工学のシーズの活用研究の推進

山梨県は、人口約 82 万人の過疎化と高齢化が進む典型的な地方都市です。大阪の様な大都市とは、人口分布、交通インフラ、農業人口等、様々な違いがあり、地方都市に特化したライフデザインの探究も欠かせません。山梨は、盆地で人口の流出が少ないため追跡調査「コホート研究」に適しており、山梨大学では社会医学講座（山縣然太郎教授ら）等による調査実績も豊富であるため、地方における質の高い住民の生活情報「PLR」を取得するフィールドとして期待できます。また、パーソナル・ヘルス・レコード（PHR）自己管理アプリ「かかりつけ連携手帳」（佐藤弥教授）、地場産業である果物の品質管理システム（小谷信司教授）、眼科分野の画像解析システム（茅暁陽教授、柏木賢治教授）、健康寿命の長い山梨の秘密を探求する研究基盤（山縣教授、田中佑治准教授）等、情報工学や医学の研究シーズも有しています。これらの地域の特徴や研究シーズを生かして、大都市との地域間比較解析や新たな技術開発を iLDi とともに推進します。

○山梨大学研究推進・社会連携機構と iLDi との連携・協力について

山梨大学研究推進・社会連携機構と iLDi は、以下の事項について互いに連携・協力してまいります。

- (1) 健康・教育・都市生活などのライフデザイン・イノベーション研究拠点が推進する事業に関する事項
- (2) 研究に必要な施設・設備・備品の共同利用に関する事項
- (3) 学生及び教職員の交流に関する事項
- (4) その他必要と認められる事項

◇大阪大学ライフデザイン・イノベーション研究拠点グランドチャレンジ研究プロジェクトについて

iLDi では、中核機関として理化学研究所および日本電気株式会社の参加を得て本学の研究者らが中心となり、未来を創る 10 個の研究プロジェクトを推進しています。

研究プロジェクトのうち、グランドチャレンジ研究プロジェクトでは、北は北海道から南は九州まで日本を縦断する、22 大学との研究プロジェクト推進を図り、2020 年度は新たに 15 件を採択し、継続分を含め計 30 件の研究プロジェクトを実施しています。

◆山梨大学は 2020 年度グランドチャレンジ（公募型研究）にも採択

2020 年度は、グランドチャレンジ（公募型研究）として採択された下記 4 件の研究課題を中心に山梨大学独自の PLR 取得に取り組みます。連携協定校との連携を積極的に進めると同時

未来を創る 10 個の研究プロジェクト

未来創生研究	
<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">1</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">保健・予防医療プロジェクト</div> 	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">2</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">健康・スポーツプロジェクト</div> 
<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">3</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">未来の学校支援プロジェクト</div> 	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">4</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">共生知能システムプロジェクト</div> 
データバリエティ基盤研究	
<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">5</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">情報システム基盤プロジェクト</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-size: small;">パーソナルデータハンドリング基盤の研究開発</div>	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">6</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">行動センシング基盤プロジェクト</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-size: small;">IoT デバイスを用いた実世界行動センシング</div>
社会実装のためのプロジェクト	
<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">7</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">実証フィールド整備プロジェクト</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-size: small;">実証実証フィールドの設置とデータ活用基盤の構築</div>	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">8</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">社会技術研究プロジェクト</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-size: small;">データハンドリング、プライバシー・バイ・デザインの研究</div>
<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">9</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">データバリエティ人材育成プロジェクト</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-size: small;">多種多様な産業で活躍する、AI 技術の目利き人材育成</div>	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">10</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">グランドチャレンジ研究プロジェクト</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-size: small;">PLR 活用拡大のための、革新的研究の募集</div>

Press Release

に、山梨県内の自治体との連携体制の構築や、地域未来創造センター（センター長：渡辺喜道教授）、URAセンター（センター長：磯野藤男准教授）等の学内拠点との連携、医学部附属病院臨床研究連携推進部（部長/副学長：岩崎甫教授）のデータ管理体制の強化等を新たに検討して、4課題への支援を行い、Society 5.0 実現化研究拠点支援事業の推進に貢献します。

- ① 健康寿命の長い高齢者の PLR 取得基盤の形成（代表者：医学域、田中佑治准教授）
- ② かかりつけ連携手帳の PLR 取得基盤への活用方法の検討（代表者：医学域、佐藤弥教授）
- ③ 大村智記念学術館における案内ロボットが人の行動に与える影響（代表者：工学域、小谷信司教授）
- ④ 対面型授業での各個人の経時的情動スタディログ獲得と活用（代表者：工学域、豊浦正広准教授）

※1 パーソナル・ライフ・レコード（Personal Life Records: PLR）

PLRとは、人々の医療・健康情報である情報「パーソナル・ヘルス・レコード（Personal Health Records : PHR）」に、日常生活、職場／学校での活動、食事、スポーツ活動など、日常生活の様々な活動データを加えた情報をいいます。

以上

◆本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

大阪大学データビリティフロンティア機構ライフデザイン・
イノベーション拠点本部企画支援室
魚森／高畑／吉川
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-8
TEL 06-6105-6498
E-mail: society-office@ids.osaka-u.ac.jp
URL : <http://www.ids.osaka-u.ac.jp/ildi/index.html>

山梨大学臨床研究連携推進部 田中佑治
〒 409-3898 中央市下河東 1110
TEL 055-273-1131
E-mail: tyuji@yamanashi.ac.jp